

[プレスリリース翻訳版]

ゴールドマン・サックス、チャリティ支援基金『ゴールドマン・サックス・ギブズ』を設立

全社的マッチング・ギフト・プログラムも、社員 1 名につき 2 万ドルに倍増

2007 年 11 月 21 日(ニューヨーク)—— ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク(NYSE: GS)は本日、ドナー・アドバイズド・ファンド(寄付者の意向に沿って寄付を行う基金)である「ゴールドマン・サックス・ギブズ」(Goldman Sachs Gives)の設立を発表した。ゴールドマン・サックスのパートナー社員は、このファンドを通じて報酬総額の一部を非営利団体に寄付することで同意した。

参加するパートナーの個人口座をゴールドマン・サックス・ギブズ内に設定する。参加するパートナーは、寄付金の受取先として世界中にある非営利団体を指定することで、当社全体の社会貢献活動の多様化を図る。さらに、当社からのゴールドマン・サックス・ギブズへの寄付も別途予定している。これは当社の既存の寄付活動の代替ではなく、パートナーによる他の寄付行為の代替を意図するものでもない。

当社は今後、OB などゴールドマン・サックス・グループの他のメンバーにもゴールドマン・サックス・ギブズへの参加を呼びかける予定である。ゴールドマン・サックス・ギブズは今後数年間で 10 億ドル以上の規模に拡大し、慈善専門ファンドの重要な資金源になると期待される。ゴールドマン・サックス・ギブズの運営費は当社が負担する。

社会貢献活動に対する当社の長い伝統に根ざしたこの活動は、全世界の非営利団体への支援を強化する重要な手段を社員に提供し、社員の全体的な善意を生かすことを目的としている。

ゴールドマン・サックス・グループ会長兼 CEO であるロイド C. ブランクファイン(Lloyd C. Blankfein)は、次のように述べている。「ゴールドマン・サックス・ギブズは、長い伝統を持つ当社の社会貢献事業への寄付活動の新たな前進である。ここ数年、当社は幸運にも目覚ましい業績を上げているため、有意義な方法で、非営利団体への支援を行いたい。」

当社は、また 2008 年 1 月 1 日付けでマッチング・ギフト・プログラムの金額を、パートナーを除く有資格社員 1 人当たり年間 1 万ドルから 2 万ドルに拡大する計画である。これにより、社員はこれまでの 2 倍の金額を寄付できるようになる。

ゴールドマン・サックス・ギブズ設立とマッチング・ギフト・プログラム倍増の両案は、年度末に取締役会の承認を得て最終決定される。

ゴールドマン・サックスの社会貢献活動には、パブリック・サービス・プログラム、非営利団体への理事紹介制度、ゴールドマン・サックス財団、市場における環境問題への取り組み (Center for Environmental Markets) などがある。さらにコミュニティ・チームワークス・プログラムには 2007 年は、19,000 名以上の社員が参加した。同プログラムは世界各地の非営利団体との協働プロジェクトにチーム単位で参加できるよう、社員に年間 1 日の有給休暇を認める制度である。

ゴールドマン・サックスは、投資銀行業務、証券業務および資産運用業務を中心に、多岐にわたるグローバルな金融サービスを世界中の企業、金融機関、政府機関等に提供している世界有数の投資銀行です。1869 年創業の世界で最も伝統のある最大手の投資銀行のひとつであり、ニューヨークを本拠地として、ロンドン、フランクフルト、東京、香港およびその他の世界の主要な金融市場に拠点を擁しています。

お問い合わせ:
クリストファー・ウィリアムズ (ニューヨーク)
212-902-5400

ゴールドマン・サックス証券株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
03-6437-1648